

## 警備業関係申請書・届出書に添付する誓約書一覧

申請・届出の種別	使用する様式	対応する誓約書
認定申請 (法第5条関係) 又は 認定の更新申請 (法第7条関係)	認定申請書 又は 認定証更新申請書  (府令別記様式第1号)	個人業者の場合 誓約1(個人欠格) 誓約4(指導教育責任者業務用) 誓約6(指導教育責任者欠格用)
		法人業者の場合 誓約2(法人申請用) ※ 法人代表者が作成 誓約4(指導教育責任者業務用) 誓約6(指導教育責任者欠格用)
営業所設置等の届出 (法第9条関係)	営業所設置等届出書 (府令別記様式第4号)	誓約4(指導教育責任者業務用) 誓約6(指導教育責任者欠格用)
法人の役員に変更があった場合の届出 (法第11条関係)	法第11条第1項変更届出書 (府令別記様式第6号)	誓約3(法人変更用) ※ 法人代表者が作成
警備員指導教育責任者に変更があった場合の届出 (法第11条関係)	法第11条第1項変更届出書 (府令別記様式第6号)	誓約4(指導教育責任者業務用) 誓約6(指導教育責任者欠格用)
	法第11条第4項変更届出書 (府令別記様式第7号)	
警備員指導教育責任者資格者証の交付申請(法第42条関係) 又は 機械警備業務管理者資格者証の交付申請(法第63条関係)	警備員指導教育責任者資格者証交付申請書 又は 機械警備業務管理者資格者証交付申請書 (府令別記様式第13号)	誓約6(指導教育責任者欠格用)
		誓約7(機械警備管理者欠格用)
機械警備業務開始の届出(法第40条関係)	機械警備業務開始届出書 (府令別記様式第18号)	誓約5(機械警備管理者業務用) 誓約7(機械警備管理者欠格用)
機械警備業務管理者に変更があった場合の届出(法第41条関係)	機械警備業務変更届出書 (府令別記様式第19号)	誓約5(機械警備管理者業務用) 誓約7(機械警備管理者欠格用)
合格証明書交付申請(法第23条関係)	合格証明書交付申請書 (検定規則別記様式第7号)	誓約8(検定合格者)

(注) 府令とは「警備業法施行規則(昭和58年総理府令第1号)」を、検定規則とは「警備員等の検定等に関する規則(平成17年国家公安委員会規則第20号)」をいう。

誓約書1(個人申請用)

誓 約 書

私は、警備業法第3条第1号から第8号まで及び第11号に掲げる

- 1 破産手続開始の決定を受けて復権を得ない者
- 2 拘禁刑以上の刑に処せられ、又はこの法律の規定に違反して罰金の刑に処せられ、その執行を終わり、又は執行を受けることがなくなった日から起算して5年を経過しない者
- 3 最近5年間に、この法律の規定、この法律に基づく命令の規定若しくは処分に違反し、又は警備業務に関し警備業の要件に関する規則第1条各号に掲げる行為をした者
- 4 集团的に、又は常習的に警備業の要件に関する規則第2条各号に掲げる罪のいずれかに当たる行為を行うおそれがあると認めるに足りる相当な理由がある者
- 5 暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律第12条若しくは第12条の6の規定による命令又は同法第12条の4第2項の規定による指示を受けた者であって、当該命令又は指示を受けた日から起算して3年を経過しないもの
- 6 アルコール、麻薬、大麻、あへん又は覚醒剤の中毒者
- 7 心身の障害により警備業務を適正に行うことができない者として国家公安委員会規則で定めるもの（精神機能の障害により警備業務を適正に行うに当たって必要な認知、判断及び意思疎通を適切に行うことができない者）
- 8 営業に関し成年者と同一の能力を有しない未成年者（警備業者の相続人であって、その法定代理人が同法第3条第1号から第7号及び10号までのいずれにも該当しない場合を除く。）
- 9 同法第3条第4号に該当する者が出資、融資、取引その他の関係を通じてその事業活動に支配的な影響力を有する者

のいずれにも該当しないことを誓約します。

令和 年 月 日

主たる営業所の名称

住 所

氏 名

長崎県公安委員会 殿

誓約書2(法人申請用)

誓 約 書

当法人は、警備業法第3条第1号から第3号まで、第10号及び第11号に掲げる

- 1 破産手続開始の決定を受けて復権を得ない者
- 2 拘禁刑以上の刑に処せられ、又はこの法律の規定に違反して罰金の刑に処せられ、その執行を終わり、又は執行を受けることがなくなった日から起算して5年を経過しない者
- 3 最近5年間に、この法律の規定、この法律に基づく命令の規定若しくは処分に違反し、又は警備業務に関し警備業の要件に関する規則第1条各号に掲げる行為をした者
- 4 法人でその役員（業務を執行する社員、取締役、執行役又はこれらに準ずる者をいい、相談役、顧問その他いかなる名称を有する者であるかを問わず、法人に対し業務を執行する社員、取締役、執行役又はこれらに準ずる者と同等以上の支配力を有するものと認められる者を含む。）のうちに同法第3条第1号から第7号までのいずれかに該当する者があるもの
- 5 同法第3条第4号に該当する者が出資、融資、取引その他の関係を通じてその事業活動に支配的な影響力を有する者

のいずれにも該当しないことを誓約します。

令和 年 月 日

主たる営業所の名称

法 人 名

代 表 者 の 氏 名

長崎県公安委員会 殿

誓約書3(法人変更用)

誓 約 書

当法人は、警備業法第3条第10号に掲げる

法人でその役員（業務を執行する社員、取締役、執行役又はこれらに準ずる者をいい、相談役、顧問その他いかなる名称を有する者であるかを問わず、法人に対し業務を執行する社員、取締役、執行役又はこれらに準ずる者と同等以上の支配力を有するものと認められる者を含む。）のうちに同法第3条第1号から第7号までのいずれかに該当する者があるもの

に該当しないことを誓約します。

令和 年 月 日

主たる営業所の名称

法 人 名

代 表 者 の 氏 名

長崎県公安委員会 殿

誓約書4(指導教育責任者業務用)

誓 約 書

私は、警備業法第22条第1項に規定する業務で、警備業法施行規則第40条各号に掲げる

- 1 警備員に対する指導に関する計画を作成し、その計画に基づき警備員を実地に指導し、及びその記録を作成すること。
- 2 警備業法施行規則第66条第1項第5号に掲げる教育計画書を作成し、及びそれに基づく警備員教育の実施を管理すること。
- 3 警備業法施行規則第66条第1項第6号に掲げる書類その他警備員教育の実施に関する記録の記載について監督すること。
- 4 警備員の指導及び教育について警備業者に必要な助言をすること。

について、誠実に業務を行うことを誓約します。

令和 年 月 日

主たる営業所の名称

住 所

氏 名

長崎県公安委員会 殿

誓約書5(機械警備管理者業務用)

誓 約 書

私は、警備業法第42条第1項に規定する業務で、警備業法施行規則第61条各号に掲げる

- 1 警備業務用機械装置による警備業務対象施設の警戒、警備業務用機械装置の維持管理その他の警備業務用機械装置の運用を円滑に行うための計画を作成し、その計画に基づき警備業務用機械装置の運用を行うように警備員その他の者を監督すること。
- 2 指令業務に関する基準を作成し、その基準により指令業務を統制するため指令業務に従事する警備員を指導すること。
- 3 警備員に対し、警察機関への連絡について指導を行うこと。
- 4 警備業法第44条に規定する書類の記載について監督すること。
- 5 機械警備業務の管理について機械警備業者に必要な助言をすること。

について、誠実に業務を行うことを誓約します。

令和 年 月 日

主たる営業所の名称

住 所

氏 名

長崎県公安委員会 殿

誓約書6(指導教育責任者欠格用)

誓 約 書

私は、警備業法第22条第4項各号に掲げる

- 1 未成年者
- 2 破産手続開始の決定を受けて復権を得ない者
- 3 拘禁刑以上の刑に処せられ、又はこの法律の規定に違反して罰金の刑に処せられ、その執行を終わり、又は執行を受けることがなくなった日から起算して5年を経過しない者
- 4 最近5年間に、この法律の規定、この法律に基づく命令の規定若しくは処分に違反し、又は警備業務に関し警備業の要件に関する規則第1条各号に掲げる行為をした者
- 5 集団的に、又は常習的に警備業の要件に関する規則第2条各号に掲げる罪のいずれかに当たる行為を行うおそれがあると認めるに足りる相当な理由がある者
- 6 暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律第12条若しくは第12条の6の規定による命令又は同法第12条の4第2項の規定による指示を受けた者であって当該命令又は指示を受けた日から起算して3年を経過しないもの
- 7 アルコール、麻薬、大麻、あへん又は覚醒剤の中毒者
- 8 警備業法第22条第7項第2号又は第3号に該当することにより警備員指導教育責任者資格者証の返納を命ぜられ、その日から起算して3年を経過しない者

のいずれにも該当しないことを誓約します。

令和 年 月 日

主たる営業所の名称

住 所

氏 名

長崎県公安委員会 殿

誓約書7(機械警備管理者欠格用)

誓 約 書

私は、警備業法第42条第3項において読み替えて準用する同法第22条第4項各号に掲げる

- 1 未成年者
- 2 破産手続開始の決定を受けて復権を得ない者
- 3 拘禁刑以上の刑に処せられ、又はこの法律の規定に違反して罰金の刑に処せられ、その執行を終わり、又は執行を受けることがなくなった日から起算して5年を経過しない者
- 4 最近5年間に、この法律の規定、この法律に基づく命令の規定若しくは処分に違反し、又は警備業務に関し警備業の要件に関する規則第1条各号に掲げる行為をした者
- 5 集団的に、又は常習的に警備業の要件に関する規則第2条各号に掲げる罪のいずれかに当たる行為を行うおそれがあると認めるに足りる相当な理由がある者
- 6 暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律第12条若しくは第12条の6の規定による命令又は同法第12条の4第2項の規定による指示を受けた者であって当該命令又は指示を受けた日から起算して3年を経過しないもの
- 7 アルコール、麻薬、大麻、あへん又は覚醒剤の中毒者
- 8 心身の障害により機械警備業務管理者の業務を適正に行うことができない者として国家公安委員会規則で定めるもの（精神機能の障害により機械警備業務管理者の業務を適正に行うに当たって必要な認知、判断及び意思疎通を適切に行うことができない者）
- 9 警備業法第42条第3項において準用する同法第22条第7項第2号又は第3号に該当することにより機械警備業務管理者資格者証の返納を命ぜられ、その日から起算して3年を経過しない者

のいずれにも該当しないことを誓約します。

令和 年 月 日

主たる営業所の名称

住 所

氏 名

長崎県公安委員会 殿

誓約書8(検定合格者用)

誓 約 書

私は、警備員等の検定等に関する規則第14条第3項第4号に掲げる

- 1 破産手続開始の決定を受けて復権を得ない者
- 2 拘禁刑以上の刑に処せられ、又はこの法律の規定に違反して罰金の刑に処せられ、その執行を終わり、又は執行を受けることがなくなった日から起算して5年を経過しない者
- 3 最近5年間に、この法律の規定、この法律に基づく命令の規定若しくは処分に違反し、又は警備業務に関し警備業の要件に関する規則第1条各号に掲げる行為をした者
- 4 集团的に、又は常習的に警備業の要件に関する規則第2条各号に掲げる罪のいずれかに当たる行為を行うおそれがあると認めるに足りる相当な理由がある者
- 5 暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律第12条若しくは第12条の6の規定による命令又は同法第12条の4第2項の規定による指示を受けた者であって当該命令又は指示を受けた日から起算して3年を経過しないもの
- 6 アルコール、麻薬、大麻、あへん又は覚醒剤の中毒者
- 7 心身の障害により警備業務を適正に行うことができない者として国家公安委員会規則で定めるもの（精神機能の障害により警備業務を適正に行うに当たって必要な認知、判断及び意思疎通を適切に行うことができない者）
- 8 警備業法第23条第5項において準用する同法第22条第7項第2号又は第3号に該当することにより合格証明書の返納を命ぜられ、その日から起算して3年を経過しない者

のいずれにも該当しないことを誓約します。

令和 年 月 日

主たる営業所の名称

住 所

氏 名

長崎県公安委員会 殿